

行ってこーわい 会ってこーわい

「橘佳央莉さん」

青年海外協力隊として
2年間キルギス共和国へ

No. 105

調理製菓の専門学校卒業後、町内保育所の調理師として勤務していた橘佳央莉さん＝恵久美＝。2年間、青年海外協力隊として活動するため、中央アジアに位置するキルギス共和国へ出発しました。

食べることが好きで、もともと海外に興味のあった橘さん。青年海外協力隊へ参加するようになったきっかけは、友達が協力隊として活躍していた姿に刺激を受けたから。自身の経験がどのくらい世界の人々の役に立つのか考え、参加を決意しました。

現在、橘さんはキルギスの大学の食品技術研修センターで製パン技術の向上や新商品の開発などに取り組んでいます。「調理師の経験はありますが、製パンは初めてなので、現地の人と一緒に成長していきたいです」と抱負を語ります。

「現地で使うロシア語とキルギス語の不安はありますが、製パンの技術を磨くことでキルギスの食文化に役立てることや自然豊かな環境を味わえる楽しみの方が大きいです」と話す橘さん。キルギスでの挑戦は始まったばかりです。



1 キルギスへ飛び立つ前の橘さん 2 現地での様子。大学生と一緒に製パンに励む（左から2番目が橘さん）

▼編集後記

国際交流の取材では、ブッシュレンジャーズの皆さんの優しさで、言語が異なっても、笑顔で楽しく過ごすことができました。

楽しかった反面、感じたのは「会話ができたら、もっと楽しいだろうな」ということ。自分の語彙力のなさはもちろんですが、外国の方と接する機会が乏しいために緊張してしまい、単語さえもなかなか出てこなくて。机上ではない生きた経験の大切さを感じた取材となりました。（久保）

2日間の国際交流。最初は緊張していた高校生でしたが、試合を重ねるごとにコミュニケーションをとり、最後には別れを悲しむ姿も。再戦を約束する彼らの間には、確かな絆が生まれたように感じました。

短い間お互いの距離を縮め、仲を深めることができたのも若者の特権の一つ。ホッケーを通じて、国境を越えた繋がりができたことをつらやましく思いました。（蔭谷）

Proud! Japan

※日本代表団の機材を支援しよう

アイス サンタ 検索

広告

有料広告募集中

掲載場所 裏表紙の最下段
 広告料 20,000 円／枠（1 カ月）
 大きさ 縦 40 ミリ×横 60 ミリ
 カラー フルカラー

問 総務課広報情報係 ☎ 985-4132